

市民ワークショップの報告

第3回市民ワークショップが開催されました！

第3回市民ワークショップは、9月4日に泉大津市役所職員会館3階で開催し、総勢15名が参加しました。ワークショップは、最終回となった今回、「10年後の泉大津市の理想像実現のための課題、地域市民ができる具体的な解決策」について4つの班に分かれて議論いただきました。



みなさんから頂戴した意見は次のとおりです。

	課題	解決策	効果	協力者
放課後の学習支援	・学びっこ、なかよしなどのシステムがあるのに自由に使えない	・教育学部の学生ボランティア受け入れ（人材確保）・インターネット、公共の場の利用	・学びたい子が学びの機会を得られる ・学力、学ぶ意欲の向上	・学校、地域、行政に人材や場所の確保を依頼
	・システムを知らない人が多い	・空いている場所の情報収集、確保	・学習に来る子どもが増える	・学校が広報プリントを配布する
	・支援団体のネットワーク、横のつながりがない	・各種団体の活動内容の再確認	・各団体の活動を理解できる	・行政と地域が情報共有の場を作る
市民参加 ・学校行事への	・クラブ指導者の確保 ・指導できるクラブが学校にない	・学校以外での部活動ができる場所を無償提供	・部活動のレベルアップ、選択肢が増える ・先生の負担減	・行政、教師、市民三者による対話を増やす
	・外部の人が指導した際の責任の所在が不明確	・地域の人材バンクを作る	・安心して指導できる ・地域の触れ合いができる	・行政が広報紙で募集、登録支援 ・地域がこぞって人材バンクに登録してもらう
生涯学習の支援	・泉大津の生涯学習の特徴がわからない ・情報発信の手段が少ない	・H P, F Bで情報発信、町内会掲示板等の活用	・地域のことがよくわかる	・自治会に回覧板などで情報発信
	・学習成果を発表する機会が少ない	・老人ホームなどに発表の場を作る ・市等で受賞、賞金等の楽しみを増やす	・自信がつく、見た人の参加意識が湧く	・お寺や神社に場の提供をしてもらう
	・仕事等により参加時間が合わない ・個人の費用負担	・時間帯を広く取ってもらう ・ボランティアの活用	・趣味が増える ・世代間交流が生まれる、健康になれる	・文化協会を活用、補助金、公共施設の活用
子どもが職業に対するイメージを持つための支援	・学校の勉強が仕事につながらない ・どの教科が将来の職業に結びつくか分からない	・各教科、単元がどんな仕事につながるのか教える ・仕事、職業の図書コーナーを作る	・勉強の意欲が上がる ・仕事のイメージがつきやすい ・小さい時から仕事のイメージを持つことができる	・教師には、意欲を高める工夫をしてもらう ・市教委には、授業のコマ数を確保してもらう
	・1つの職業の中にたくさん種類があることを知らない ・自営業以外、親の働いている姿を見れない	・職業体験の機会を増やす ・地域の方々に出前授業をしてもらう	・自分に合ったもの、場所を見つけることができる ・地域コミュニティが深まる	・家庭で仕事について話してもらう ・P T A, 3中ネットには、社長だけでなく従業員にも来てもらう